

# 6 1

## 【看護学科】

### 論文問題

2022(令和4)年度

#### 【注意事項】

1. この問題冊子は「論文」である。
2. 試験時間は120分である。
3. 試験開始の合図まで、この問題冊子を開いてはいけない。ただし、表紙はあらかじめよく読んでおくこと。
4. 試験開始後すぐに、以下の5および6に記載されていることを確認すること。
5. この問題冊子の印刷は1ページから3ページまでである。
6. 解答用紙は問題冊子中央に2枚はさみこんである。
7. 問題冊子に落丁、乱丁、印刷不鮮明な箇所等があった場合および解答用紙が不足している場合は、手をあげて監督者に申し出ること。
8. 試験開始後、2枚ある解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を記入すること（1枚につき受験番号は2箇所、氏名は1箇所）。
9. 解答は必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。解答用紙の裏面に記入してはいけない。
10. 問題番号に対応した解答用紙に解答していない場合は、採点されない場合もあるので注意すること。
11. 解答する字数に指定がある場合は、句読点も1字として数えること。英数字を記入する場合は、1字分のマス目に2文字記入すること。なお、解答は1マス目から書き始め、文と文の間に空欄を入れないこと。
12. 問題冊子の中の白紙部分は下書き等に使用してよい。
13. 解答用紙を切り離したり、持ち帰ってはいけない。
14. 試験終了時刻まで退室を認めない。試験中の気分不快やトイレ等、やむを得ない場合には、手をあげて監督者を呼び、指示に従うこと。
15. 試験終了後は問題冊子を持ち帰ること。



〔 I 〕 以下の課題文は、認知症の診断や治療に携わってきた医師が認知症になり、自らの体験や考えを述べたものです。この文章を読んで、後の設問に答えなさい。

認知症への理解はかなり進んできましたが、それでも、認知症と診断された人は「あちら側の人間」として扱われていると思うことがあります。こちら側の人間だと思っている人たちは、あちら側の人間はまともに話ができないとか、何をいってもわからないなどといったりします。認知症の人の前で、平気でそうしたことを口にし、人格を傷つけるようなことが話されている場合もあります。

でも、それは間違いです。話していることは認知症の人にも聞こえているし、悪口をいわれたり、ばかにされたりしたときの嫌な思いや感情は深く残ります。だから、話をするときには注意を払ってほしいと思います。認知症の人が何もいわないのは、必ずしもわかっていないからではないのです。

存在を無視されたり、軽く扱われたりしたときの悲しみや切なさは、誰もが大人になる過程で、そして大人になってからも、職場や家庭で多かれ少なかれ体験していることでしょう。そうしたつらい体験がもたらす苦痛や悲しみは、認知症であろうとなかろうと、同じです。

何かを決めるときに、ボクたち抜きに物事を決めないでほしい。ボクたちを置いてきぼりにしないでほしいと思います。

みなさんが認知症の人と接するとき、ぜひ、心に留めておいていただきたいことがあります。

まず、相手のいうことをよく聴いてほしい。

「こうしましょうね」「こうしたらいかがですか」などと、自分からどんどん話を進めてしまう人がいます。そうすると、認知症の人は戸惑い、混乱して、自分の思っていたことがいえなくなってしまいます。「こうしましょう」といわれると、ほかにしたいことがあっても、それ以上は何も考えられなくなってしまいます。それは人間としてあるべき姿ではない。だから「今日は何をなさりたいですか」という聞き方をしてほしい。そして、できれば「今日は何をなさりたくないですか」といった聞き方もしてほしい。

それから、その人が話すまで待ち、何をいうかを注意深く聴いてほしいと思います。「時間がかかるので無理だ」と思うかもしれませんが、でも、「聴く」というのは「待つ」ということ。そして「待つ」というのは、その人に自分の「時間を差し上げる」ことだと思うのです。認知症はやはり、本人もそうとう不便でもどかしくて、耐えなくてはいけないところがあるから、きちんと待って、じっくり向き合ってくれれば、こちらは安心します。

話しかける際は、遠すぎず、近すぎず、その人と1メートルくらいの距離をとったところで言葉をかけてもらうのが、ちょうどいい。視線の高さも大事です。上から見下ろすのでも、下から見上げるのでもなく、同じ高さにして、目と目を合わせる。

認知症になったら「何もわからなくなる」と思っている人がいます。でも、繰り返しますが、そんなことはありません。心は生きています。嫌なことをされれば傷つくし、褒めてもらえばやはり嬉しい。

何よりも心に留めておいてほしいのは、認知症の人でも自分と同じ「1人の人間」であり、この世

にただ1人しかいない唯一無二で尊い存在ということです。

生活環境をシンプルにすることも大事です。できるだけ単純なほうがよい。複雑な環境でないほうがよいのです。トイレがどこにあるかとか、寝る場所の位置とか、大事なもののほど覚えやすく、見えやすいようにし、動きやすいようにしておくのが大事です。

また、認知症の人は、同時にいくつものことを理解するのが苦手です。一度にいろいろなことをいわれると混乱して、疲れの度合いが深まります。同じことを伝えるにしても、なるべくシンプルにわかりやすく、1つずつにしてほしい。これは、伝える側の心がけ次第で大きく変えることができる点です。

認知症の人を、ただ「支えられる人」にして、すべての役割を奪わないということも心がけていただきたい。役割というのは、別に難しいことではなくて、何でもよいのです。

(出典：長谷川和夫 猪熊律子 『ボクはやっと認知症のことがわかった 自らも認知症になった専門医が、日本人に伝えたい遺言』, KADOKAWA, 2019, 一部改変)

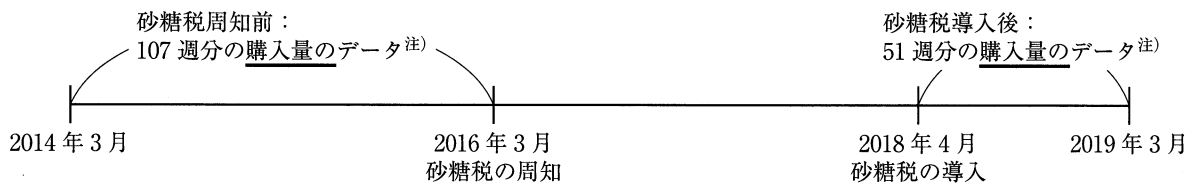
- (1) 下線部のように筆者が述べたのは、どのような体験からと考えられるか。本文の言葉を用いて、150字以内で説明しなさい。
- (2) 本文をふまえ、認知症である本人、家族、地域住民の人々に対し、今後、看護職ができることについて、あなたの考えを450字以内で論じなさい。

〔Ⅱ〕 以下の資料は、英国において2016年3月に周知、2018年4月から導入された「糖類を含む飲料に対する課税(以下、砂糖税)」に関する研究のまとめの一部を示したものである。

砂糖税の対象となる飲料は、100mlあたり5g以上の糖類を含む飲料で、低課税飲料(5～8g/100ml, 1Lあたり約26円の課税)、高課税飲料(8g以上/100ml, 1Lあたり約35円の課税)に分けられる。糖類が5g未満/100mlの飲料は非課税飲料である。なお、乳飲料(牛乳など動物性ミルクを75%以上含むもの、豆乳などの植物性の代替ミルク)、果汁100%ジュース、粉末で販売される飲料(育児用調整粉乳など)は課税対象外飲料である。

(1) 研究の結果について、図表から読み取れることを述べたうえで、その結果が生じた理由を考察し、350字以内で述べなさい。

(2) 砂糖税がもたらす様々な影響と砂糖税をより効果的にする方策について、あなたの考えを400字以内で述べなさい。



注)砂糖税周知前のデータと砂糖税導入後のデータには、英国の全世帯の代表性が保たれるようにサンプリングされた、それぞれ1週間あたり平均22,183世帯の購入情報が含まれる。

図 データ収集の期間

表 砂糖税周知前と砂糖税導入後の1世帯の1週間あたりの飲料購入量および砂糖含有量の変化

	購入量		購入商品の砂糖含有量	
	量の変化(ml)	変化の割合(%)	量の変化(g)	変化の割合(%)
高課税飲料	<u>-155.0</u>	<u>-44.3</u>	<u>-18.0</u>	<u>-45.9</u>
低課税飲料	<u>-177.3</u>	<u>-85.9</u>	<u>-12.5</u>	<u>-86.2</u>
非課税飲料	210.5	7.7	<u>15.3</u>	<u>166.4</u>
課税対象外飲料				
乳飲料	-152.8	-4.8	<u>-11.9</u>	<u>-7.4</u>
果汁100%ジュース	-7.2	-1.5	-0.8	-1.9
粉末飲料	-9.2	-9.9	-1.6	-8.9

※表中の数値はすべて平均値

下線：統計学的に信頼できる変化を示した数値

(出典：Changes in soft drinks purchased by British households associated with the UK soft drinks industry levy: controlled interrupted time series analysis. BMJ. 2021;372:n254. 一部改変)